

Press release - 2020. 7.11-13



Race Report







MINI CHALLENGE JAPAN2020 Round-2 / MOTEGI

(2020.7.11-13)

Press release - 2020. 7.11-13



BRPは今季からMINIチャレンジJAPAN2020に2台体制で参戦し、BRPのエースナンバー19番を背負うドライバーには松本武士選手を起用し、シリーズチャンピオン獲得を目指します。17号車は今年からレースを始めたジェントルマンドライバー鈴木建自選手が夢のレーシングドライバーとして第2の人生をスタートさせます。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2020年7月12日~7月13日に開催された「MINIチャレンジ JAPAN Rd.2もてぎ」において、第3戦をNo.19 松本武士選手が予選6位/決勝1位No.17 鈴木建自選手が予選5位/決勝5位で終え、そして、第4戦No.19 松本武士選手が予選4位/決勝1位No.17 鈴木建自選手が予選5位/決勝5位の好成績で2台共に無事に開幕戦を終えました。 ※Rd.1富士は新型コロナウィルスの影響で延期になりRd.2もてぎが開幕戦となりました。

















Press release - 2020. 7.11-13



【7月13日(日)予選】

19号車松本武士選手がコースインして1ラップアタックで他者を圧倒する2 12.612のトップタイムで予選を終えましたが、コース外走行(4輪脱輪)のペナルティを受け、幻のポールポジションとなり、最後尾からのスタートなりました。17号車の鈴木建自も自身初レースの緊張の予選を無事に走り切り5番手からのスタートとなりました。

MINIチャレンジJAPAN2020 Rd.2もてぎ 予選

No.17 鈴木建自選手 4位 2'16.960

No.19 松本武士選手 6位 2'21.225















Press release - 2020. 7.11-13



【7月13日(日)Rd.2もてぎ 第3戦 決勝】

19号車 松本武士選手は予選のペナルティで最後尾からのスタートとなりましたが、スタート直後のオープニングラップで3番手まで浮上して、その後ライバルと激しいバトルをレース中盤まで繰り返し、首位となり終盤は後続との間合いをコントロールし、見事開幕戦を優勝で飾りました。17号車 鈴木建自選手も人生初のレースがスタートし、序盤から終始自分との闘いを征して、見事5位完走でレースを終えました。

MINIチャレンジJAPAN Rd.2もてぎ 第3戦 決勝

No.19 松本武士選手 JCWクラス 1位

No.17 鈴木建自選手 JCWクラス 5位

















Press release - 2020. 7.11-13



【7月13日(日)Rd.2もてぎ 第4戦決勝】

19号車松本武士選手は第3戦のリバースグリッドにより、4番手からのスタートとなりましたが、第3戦同様オープニングラップから、スタートダッシュで1コーナーで1台をオーバーテイクし、2コーナーでライバルの悪質なドライビングによる接触行為によりホイールが大きく損傷しますが、その後冷静なレース展開をみせ、中盤には首位を奪還してそのまま1位でチェッカーを受けました。17号車鈴木建自選手もスタートから落ち着いたレースを展開して、第3戦よりも1つポジションをあげて4位で終え、人生初レースのレーシングドライバー開幕戦を2戦とも無事に完走で終え、チームとしては全てのミッションを達成する最高の結果でレースを終えました。

MINIチャレンジJAPAN Rd.2 もてぎ第4戦 決勝

No.19 松本武士選手 JCW 1位

No.17 鈴木建自選手 JCW 4位

















Press release - 2020, 7.11-13



【コメント】

今年からいよいよBRPとしてMINIチャレンジJAPANにフル参戦し、エースナンバーの19号車 松本武士選手は、もちろんシリーズチャンピオン獲得に向けて全力でチャンレンジします。17号車 鈴木建自選手は、BRPの重要なコンセプトの1つであるレーシングドライバーへの夢を実現する プロジェクトの実現に向けて、新たな人生のスタートを開始します。

今年51歳から人生初のレースを体験し、レーシングドライバーとしての第2の人生をスタートさせる事は、非常に勇気と情熱が無ければ、このスタートラインに立つことも難しい状況ですが、鈴木建自選手は見事スタートラインに立ち、無事に人生初のレーシングドライバー開幕戦を2戦とも完走で終えました。この事は私にとっても非常に喜ばしく、そして大変励みになりました。このような、レーシングドライバーを夢見る方々の夢を実現する事もBRPのとても大事な存在意義ですので、この鈴木建自選手のチャレンジを全力サポートしていきたいと思います。

この二人の選手には、2つの異なったコンセプトで思う存分暴れてもらいますので、今後とも是非 皆様で支援・で声援のほど何卒よろしくお願い致します。

> 株式会社バースモータースポーツ事業部 バースレーシングプロジェクト 代表取締役 奥村 浩一



Aft.



Press release - 2020. 7.11-13

















■BRPパートナー企業

































































































































